

サステナビリティ

パルコは、生活者の方々に心躍るサステナブルなライフスタイルをご提供するという強い意志を持ち、次世代とともに、社会と共有できる新しい価値を創出します。サステナビリティ方針のもと6つのテーマで活動することにより、SDGsの達成にも貢献し、ステークホルダーからの信頼と満足を得て企業価値を高めるサステナブルな経営を目指しています。

www.parco.co.jp/sustainability/



インキュベーション

ポンド P.O.N.D. (Parco Opens New Dimension)

P.O.N.D.は、渋谷PARCOを舞台に開催するアート、ファッション、音楽、演劇などあらゆるジャンルのカルチャー祭典です。Parco Opens New Dimensionという名称には、常に「新しい次元を切り開いていくイベントでありたい」という想いが込められています。カルチャーとの触れ合い方が大きく変わりつつある今だからこそ、カルチャーを愛するすべての人を元気にできるような、さまざまな企画を実施していきます。激動の時代に変わり続ける渋谷の真ん中に集まったクリエイターたちのエネルギーが、誰も予想しないような新しい次元を切り開きます。



<https://pond.parco.jp>

パルコの新しいカルチャーフェスティバル「P.O.N.D.」 2020年10月16日～25日開催

2020年は、総勢約30組の若手クリエイターが参加して開催しました。PARCO MUSEUM TOKYOでの展覧会をはじめ、オンライン上で展示作品を楽しめる「ONLINE EXHIBITION」、GALLERY Xでの「POP-UP STORE & LIVE STREAMING」、COMINGSOONでの「食」のPOP-UP STOREなど、渋谷PARCOを舞台に、新しい次元 (Dimension) を切り開くコンテンツを発信しました。会期最初の週末にはメイン会場のPARCO MUSEUM TOKYOでの展覧会に1,600人を超すお客さまが来場されるなど、大きな反響がありました。



「Ryu Ika」によるPARCO MUSEUM TOKYOでの展示作品

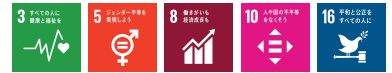
学校法人昭和女子大学と産学連携協定を締結

実践的なプロジェクト型学修と地方活性化を目的として産学連携協定を締結しました。この協定により、学生の学修成果が、パルコのサステナビリティ活動につながり、地方活性化のための課題発見・解決に役立てることを目指します。パルコは教育機関と連携して多様な協働環境を創出することを通じて、「次世代の育成」「ダイバーシティ」「Z世代が持つアイデアの事業活用」に取り組みます。学生はパルコでの実際の事業活動を通じて現実の社会やビジネスの課題に向き合い課題解決力やコミュニケーション力を磨きながら、感性を活かして、社会や企業、自治体が抱える課題を発見し、解決のための企画提案をおこなっていきます。



産学連携協定における具体的な活動概要

- 1 学生が地域の名産品を発掘し、クラウドファンディングする「Tre-share (トレシェア) プロジェクト」
- 2 大学生がインターンシップ生としてビジネスを経験
- 3 次世代が地元の魅力に気づくことで、中長期的な地域活性化を目指す



ダイバーシティ

多様な働き方を推進

個性的な人材が多様な働き方を通して新しい発想を生み出す企業風土を醸成するため、LGBTに対する偏見のないダイバーシティ組織の実現に向けた取り組みを推進しています。働くすべての社員がそれぞれの個性を發揮し、よりイキイキと働き続けられる環境・仕組みの整備の一環として、LGBTに関する規程と休暇制度を整備しています。

LGBT相談窓口

相談窓口を設置し、LGBTに関する職場での困り事や制度に関する問い合わせなどを受け付けています。

同性パートナーシップ制度

会社指定の諸手続きをおこなうことにより同性パートナーを婚姻に相当する関係と認定し、諸規則の適用対象としています。異性間の事実婚についても同様の権利を認めています。

性別移行支援休暇

性同一性障害の社員がホルモン治療や性別適合手術または術前術後の診察のため休務する場合、直近2年間に失効した年次有給休暇を取得できます。

場所を選ばない働き方を支援

外出を伴う業務が多い社員を対象に、移動時間を活用するなど時間当たりの生産性を上げるためのモバイルワークを推進しています。また、社員個々の事情と業務の両立を支援し、非常時においても企業活動が継続可能な環境に整えるために、在宅ワーク制度を導入し運用しています。これまで対象者を時間制約のある社員に限定していましたが、2020年4月に原則として全社員が幅広く活用できる制度に改定しました。また、クラウドサービスの導入や全社員へのモバイルパソコン・スマートフォンの配布など、デジタル活用・拡充によりコミュニケーションの促進と業務の高速化・高密度化を推進しています。



社員の自宅環境も考慮し、サテライトオフィスも活用

環境



心齋橋PARCO

リノベーションの実施と100%再生エネルギーを活用

心齋橋PARCOは、旧大丸心齋橋店北館からPARCOにリニューアルするにあたり、サステナブルな取り組みとして既存ビルを活かすリノベーションを実施しました。エレベーターサイド壁材の特徴的な天然石材を1~2階と9~10階に残して活用した空間デザインをつくり上げました。また、御堂筋の銀杏並木にちなんだ既存ビルのエレベーターホールの床面で使用していた銀杏並木の象嵌タイルを、1階床面のデザインに活かすとともに、外壁に飾られていたブロンズ彫刻や天井演出で使用していたモザイクタイルなどを、パブリックアートとして環境演出に活用、既存ビルの躯体である耐火被覆柱をガラスで覆い空間デザインに活かしました。さらに、環境に配慮し、水力発電による100%再生エネルギーを心齋橋PARCO全館で使用しています。



旧大丸心齋橋店北館1階 エレベーターホールから移設した銀杏並木の象嵌タイル

調布PARCO

商業施設では初のエコマーク認定を取得

調布PARCOは、エコマーク商品類型 No.509「商業施設 Version1」認定基準における第一号認定を取得しました。エコマークの評価項目である、建物・周辺環境への配慮、環境に配慮した設備、交通・物流の効率化、テナントとの協力体制、お客さまとのエコ活動、エコな施設運営の、6つの基準を充足したほか、建物設備の適正な整備と管理運営、駐車場・駐輪場政策等を通じた店舗周辺環境への配慮、フードドライブ実施によるフードロス削減、地域福祉事業への貢献など、個別項目への取り組みにおいて高く評価され、認定されました。今後もエコマーク認定施設として、持続可能な社会の実現に向け、地域社会に貢献し環境に優しい商業施設を目指します。



地域

BOOSTER

「#スタンドバイ東北」×「しずおかMIRUIプロジェクト」が相互エール

クラウドファンディングサービス「BOOSTER」は、新たな挑戦を志す人や組織が必要な資金をインターネット経由で個人から調達する仕組みで、PARCO店舗との連携など「Webとリアルな融合」によってプロジェクトの実現をサポートし、クリエイティブな挑戦を世の中に送り出します。2020年10月に立ち上げた東日本大震災から10年という節目に東北6県の地産品を応援する「#スタンドバイ東北」が、2020年1月に立ち上げた静岡県内事業者の新たな挑戦・困りごと解決を応援する「しずおかMIRUIプロジェクト」と相互エール企画を実施し、応援消費を加速させています。

第1弾 しずおかMIRUIプロジェクト

<https://camp-fire.jp/channels/shizuoka-mirui>

立ち上げ： 2020年1月

メンバー： 静岡PARCO、松坂屋静岡店、静岡新聞 SBS、クラウドファンディング BOOSTER

取り組み： 店舗（静岡PARCO・松坂屋静岡店）およびメディア（静岡新聞 SBS）が宣伝面をバックアップし、採択プロジェクトを成功に導く。

掲載数： 19件のプロジェクトを掲載（2021年2月26日現在）



第2弾 #スタンドバイ東北

https://camp-fire.jp/curations/stand_by_tohoku

立ち上げ： 2020年10月

メンバー： 東北スタンダードマーケット（株式会社金入）、仙台PARCO、クラウドファンディング BOOSTER

取り組み： 東北スタンダードマーケットが注目する伝統工芸品や地域産品を独自の視点でディレクション。そして店舗（仙台PARCO）でも宣伝面をバックアップし、東北および全国へ向けてPRする。

掲載数： 3件のプロジェクトを掲載（2021年2月26日現在）



松本PARCO

「松本市美術館×松本PARCO パルコde美術館」を開催

松本PARCOは、松本市が企画する「松本まちなかアートプロジェクト2021」の一環として、最上階の6階全フロアと屋上を利用した全国でも前例の少ないショッピングセンター内での美術館（公共施設）「松本市美術館×松本PARCO パルコde美術館」を2022年2月まで開催しています。松本市美術館の大規模工事に伴う1年間の休館など、街中の観光への影響が懸念されるなかで、「歴史と文化が刻まれた松本の街を舞台に、創作・発信・来街・購買の機会の創出」をコンセプトに「松本市美術館×松本PARCO パルコde美術館」発のアート・文化の情報発信を目指していきます。長引くコロナ禍の影響による観光・消費モチベーションの低下傾向にあるなかで、街中にアートの顕彰機会を創出することにより、リアルな場での買い物体験に付加価値を提供するとともに、観光客を含めた新たな人の流れをつくり、中心市街地の活性化に貢献していきます。



松本市美術館×松本PARCO パルコde美術館
松本PARCO 6階、屋上

2021-2023年度 中期経営計画

サステナビリティを当社企業活動全般に波及させ、サステナビリティと企業戦略を一体化させながら事業を推進し、次世代とともに地域などすべてのステークホルダーと連携して共創し、事業のさらなる発展を図ります。「多様な個性と感性をつなぎ、次世代とともに、心躍るサステナブルなライフスタイルを共創する」をサステナビリティ方針に、6つのテーマを設定し活動を推進することで、SDGsの達成にも貢献していきます



文化的な価値創造

未来に向けた文化的な価値を生み出し、それらを享受できる豊かで持続的なライフスタイルを提案します

D&I、働きがい

ダイバーシティ&インクルージョンの実現を目指し、さまざまな人材が活躍できる場をつくります

脱炭素社会への貢献

パートナー企業をはじめとした周囲の企業と協力し、脱炭素社会の実現を目指します

次世代とともに

クリエイティビティや活力にあふれる人々とともに、新しい時代に向けてインキュベーション／イノベーションを推進します

地域の魅力向上

コミュニティへの積極的な参加や、安心・安全な環境の維持を通じて、街や地域の魅力向上に貢献します

ステークホルダーとの共創

クリエイターやテナント、お客さまなど、さまざまなステークホルダーとのパートナーシップを強化します

企業情報

会社概要 (2021年2月末日現在)

会社名	株式会社パルコ	社員数	662名<男性359名 女性303名> (2021年5月末日現在)	
本社所在地	東京都豊島区南池袋1-28-2	店舗・拠点数	PARCO	18店舗
本部所在地	東京都渋谷区神泉町8-16 渋谷ファーストプレイス		ZERO GATE	11店舗
設立年月日	1953年2月13日		BINO	4店舗
資本金	343億67百万円		その他	34拠点
親会社	J.フロント リテイリング株式会社			

沿革

1953年 2月	池袋ステーションビル株式会社を設立	2007年 3月	「静岡PARCO」開店
1954年 10月	株式会社丸物の資本参加を得て、事業目的をステーションビル運営から百貨店業に変更	10月	「浦和PARCO」開店
1957年 5月	株式会社東京丸物に商号変更	2008年 8月	「仙台PARCO」開店
12月	店名「東京丸物」で百貨店業を開始	2010年 3月	「福岡PARCO」開店
1969年 11月	「池袋PARCO」開店	2013年 4月	「心齋橋ZERO GATE」開店
1970年 4月	株式会社パルコに商号変更		「道頓堀ZERO GATE」開店
1973年 6月	「渋谷PARCO」開店	10月	「広島ZERO GATE」開店
1975年 8月	「札幌PARCO」開店	2014年 10月	「名古屋ZERO GATE」開店
1977年 7月	「津田沼PARCO」開店	2016年 2月	「札幌ZERO GATE」開店
1980年 9月	「吉祥寺PARCO」開店	9月	「広島ZERO GATE2」開店
1983年 6月	「新所沢PARCO」開店	2017年 11月	「PARCO_ya上野」開店
1984年 8月	「松本PARCO」開店		「京都ZERO GATE」開店
1988年 8月	東京証券取引所市場第一部銘柄に指定	2018年 3月	「原宿ZERO GATE」開店
1989年 5月	「調布PARCO」開店	9月	「三宮ZERO GATE」開店
6月	「名古屋PARCO」開店	2019年 3月	「錦糸町PARCO」開店
1993年 10月	「ひばりが丘PARCO」開店	6月	「サンエー浦添西海岸 PARCO CITY」開店
1994年 4月	「広島PARCO」開店	8月	「川崎ZERO GATE」開店
2002年 4月	「渋谷ZERO GATE」開店	11月	新生「渋谷PARCO」開店
2005年 2月	「Pedi (ペディ) 汐留」開店	2020年 3月	J.フロントリテイリング株式会社の完全子会社化 東京証券取引所市場第一部での上場を廃止
		9月	株式会社大丸松坂屋百貨店の不動産事業 (一部除く)を承継
		11月	「BINO 栄」開店
			「心齋橋PARCO」開店

パルコグループの紹介

パルコグループは、株式会社パルコを中心に、空間創造やビル管理をおこなう「株式会社パルコスペースシステムズ」、商業施設へ向けたデジタルを活用した効果的なサービスやアプリ開発をおこなう「株式会社パルコデジタルマーケティング」、アジアでのSC開発のほかソフトコンテンツ展開や商業施設コンサルティングをおこなう「PARCO (Singapore) Pte Ltd」で構成されています。

空間の創造と運営管理を中軸とした
ソリューションの提供

PARCO SPACE SYSTEMS

株式会社パルコスペースシステムズ

 www.parco-space.co.jp

株式会社パルコスペースシステムズは、内装デザイン・ディスプレイ演出といった空間創造のスペースプロダクト事業から、施設の安全性・快適性を維持管理するビルメンテナンス事業まで、空間のデザイン設計/施工/施設運営/施設管理といった、施設づくりのすべての段階に対応する総合的なサービス・ソリューションを提供しています。ショッピングセンター、専門店、公共施設、大型シティホテル、医療施設、美術館など、利用者がデザイン性・快適性を求める施設において、PARCOで蓄積されたノウハウを活かし、取引先の資産価値の維持向上に貢献しています。

商業施設や専門店企業への
Web・ICT活用支援

PARCO DIGITAL MARKETING

株式会社パルコデジタルマーケティング

 www.parco-digital.co.jp

株式会社パルコデジタルマーケティングは、商業施設向けICT活用支援を中核事業とし、パルコのデジタル活用を支援しています。また、商業施設・専門店に寄り添い、Webサイトの構築、運用やデジタルサイネージの導入支援などの企画開発や、商業施設やナショナルチェーンのデジタルマーケティングを支援するコンサルティングなど、リアルとデジタルを融合させた新しい商空間の実現をサポートする、店舗でのデジタルとWebを組み合わせた複数サービスを、300を超える商業施設や専門店の運営ソリューションとして提供しています。

アジアSC開発・ソフトコンテンツ展開・
商業施設コンサルティングを展開

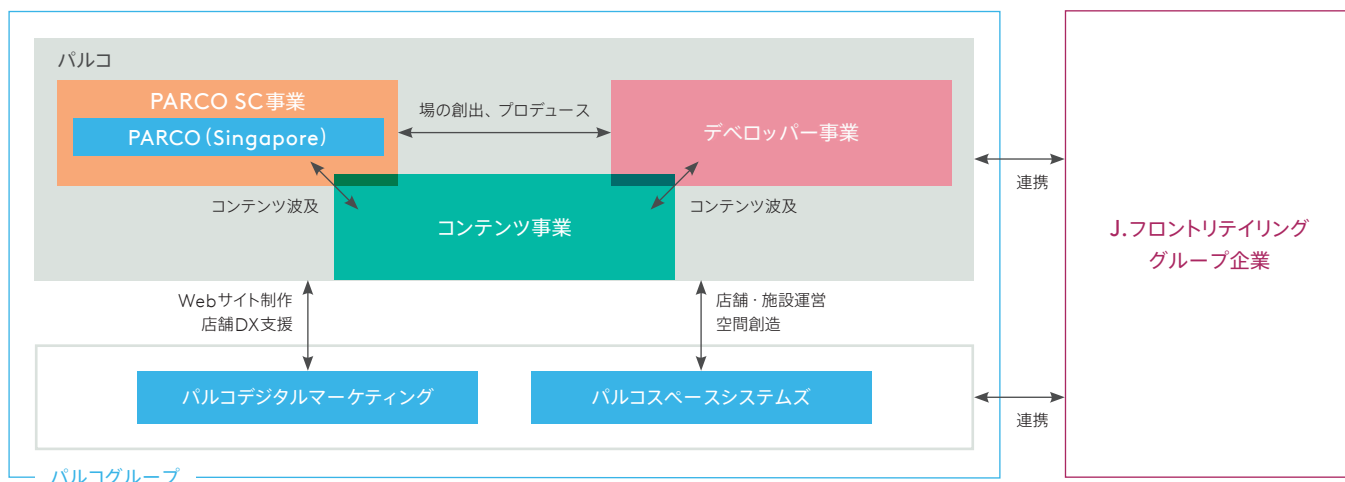
PARCO SINGAPORE

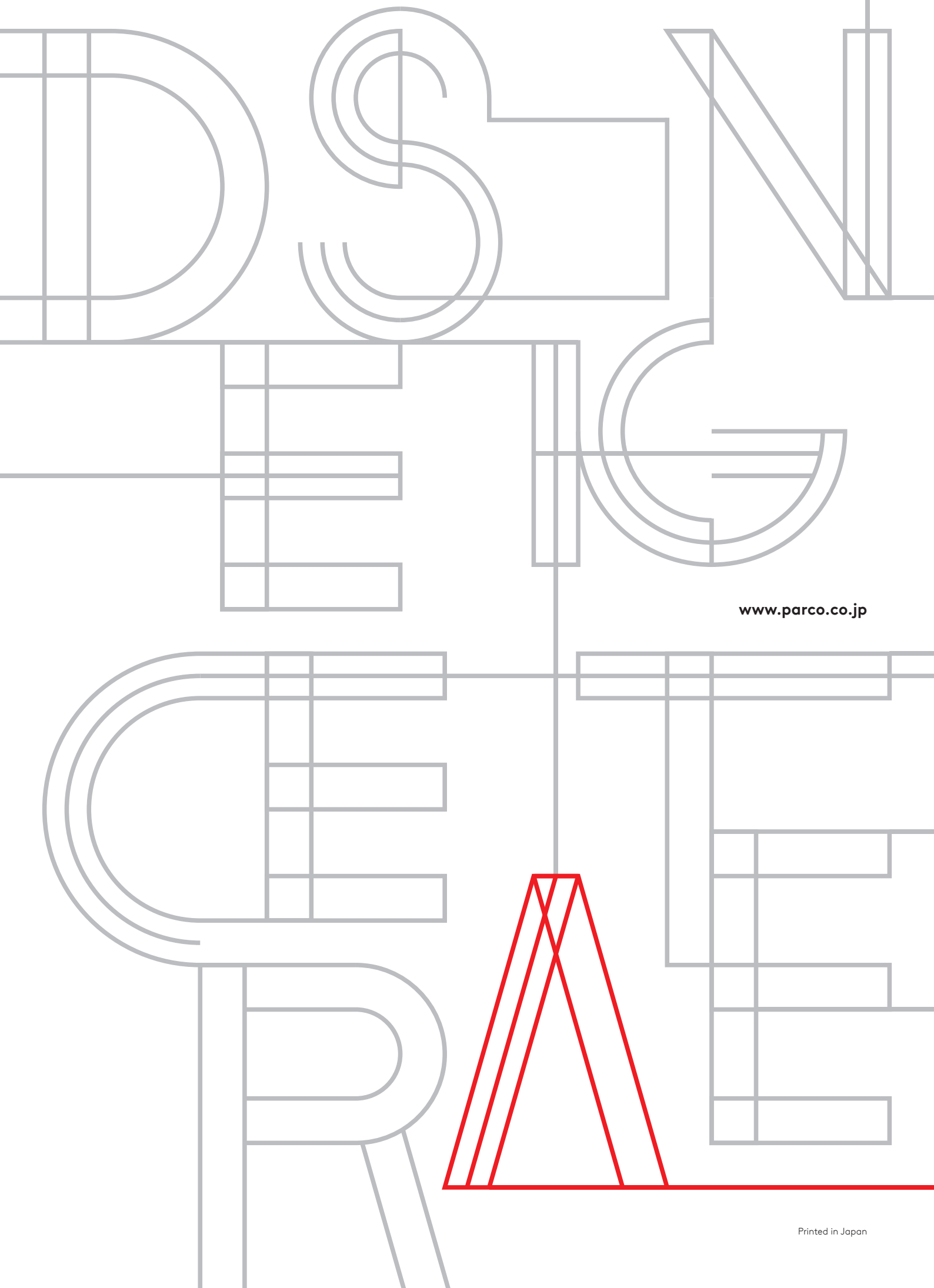
PARCO (Singapore) Pte Ltd

 www.parco.com.sg

PARCO (Singapore) Pte Ltdは、国内外で長年培ってきたショッピングセンターの開発・運営ノウハウを活かして東アジアおよび東南アジアでビジネスを積極的に展開しています。近年は、シンガポールでのネットワークと経験を活かしシンガポールおよび周辺各国の商業施設・オフィスビル・ホテルなどで日系飲食店集積ゾーンをプロデュースする「itadakimasu」の新店を推進しています。また、パルコがプロデュースするキャラクターコラボレーションカフェの海外展開や、海外におけるキャラクターコラボレーションカフェ運営のコンサルティングをおこなっています。

J.フロントリテイリンググループ関係図





www.parco.co.jp